

教育委員会定例会会議録

1 日時

令和6年4月23日(火)

開会 9時30分

閉会 10時30分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席委員 福永和伸教育長、大森達也委員、栗須百合香委員、富樫健二委員、
安田悦子委員

欠席委員 なし

4 出席職員

教育長 福永和伸(再掲)、副教育長 大屋慎一

次長(教職員担当) 福井崇司、次長(学校教育担当) 早田清宏、

次長(育成支援・社会教育担当) 坂井哲、次長(研修担当) 荻田直樹

教育総務課 課長 浮田知樹、班長兼企画員 米澤道隆

教職員課 課長 中出真人、班長 武藤誠

福利・給与課 課長 坂口浩二、班長 榊田裕一

小中学校教育課 課長 尾上修一、充指導主事 小倉弘充

高校教育課 課長 山北正也、班長 岡智之、係長 川村孝次郎

特別教育支援課 課長 岡田恭子、充指導主事 松原幸正

生徒指導課 課長 向井英規、子ども安全対策監 元水伸美、班長 平井貴子

5 議題件名及び採択の結果

	件名	審議結果
議案第1号	職員の懲戒処分について	原案可決
議案第2号	令和6年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について	原案可決

6 報告題件名

報告1 令和6年度三重県立高等学校等入学者選抜及び
三重県立特別支援学校入学者選考の概要について

報告2 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について

7 審議の概要

- ・開会宣言

福永和伸教育長が開会を宣告する。

- ・会議成立の確認

5名中5名の委員の出席により会議が成立したことを確認する。

- ・前回審議事項（3月22日開催）の審議結果の確認

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

- ・議事録署名者の指名

栗須委員を指名し、指名を了承する。

- ・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第1号および議案第2号は人事に関する案件のため、非公開とすることを決定する。

公開の報告1から報告2の報告を受けた後、非公開の議案第1号から議案第2号を審議する順番とすることを決定する。

- ・報告事項

報告1 令和6年度三重県立高等学校等入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について（公開）

（山北高校教育課長）

報告1 令和6年度三重県立高等学校等入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について

令和6年度三重県立高等学校等入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について、別紙のとおり報告する。

令和6年4月23日提出 三重県教育委員会事務局 高校教育課長 特別支援教育課長 次のページをご覧くださいまして、「I 令和6年度三重県立高等学校入学者選抜の概要について」を報告いたします。

「1 前期選抜等（2月5日・6日実施）」をご覧ください。「（1）前期選抜」は、2月5日、6日に全日制課程48校、109学科・コース、定時制課程5校12学科、通信制課程1校1学科で、学科・コースの特色に応じた検査により実施しました。

実施学校数及び学科・コース数は、全日制課程で、前年度より1校1学科・コース少なく定時制課程及び通信制課程は前年度と同じでした。

全日制課程については、募集人数3,367人に対して、7,049人の志願があり、志願倍率は、前年度より0.02ポイント高い2.09倍で、合格内定者は3,602人でした。

定時制課程、通信制課程についてはご覧のとおりです。

「（2）連携型中高一貫教育に係る選抜」は、前年度より1校1学科少なく、全日制課

程 1 校 1 学科で実施しました。

「(3) 特別選抜」は、高等学校中途退学したものなど、すでに中学校を卒業したものを対象としています。前年度同様、全日制課程 1 校 1 学科、定時制課程 5 校 12 学科で実施しました。

次に「2 後期選抜(3月11日実施)」についてです。後期選抜は3月11日に学力検査を実施しました。全日制課程では、募集人数 6,819 人に対して、7,360 人の志願があり、志願倍率は、前年度より 0.02 ポイント高い 1.08 倍でした。

定時制課程、通信制課程についてはご覧のとおりです。

次に「3 後期選抜までの合格者の状況(合格者発表:3月18日)」です。3月18日に前期選抜等の合格内定者と併せて合格者の発表を行いました。合格者の状況についてはご覧のとおりです。なお、※にあります、秋期入学者選抜については、北星高等学校で令和6年9月に実施する予定です。

続いて、1枚進んでいただきまして、「4 再募集・追加募集」をご覧ください。「(1) 再募集」は、前期選抜、後期選抜の合格者数が、入学定員に満たない学校において実施するものです。令和6年度選抜では、全日制課程 22 校 32 学科・コース、定時制課程 10 校 13 学科、通信制課程 2 校 2 学科で実施しました。募集定員、志願者数、合格者数はご覧のとおりです。

「(2) 追加募集(3月28日実施)」は、再募集においても入学定員に満たない夜間定時制課程の高等学校で行われるもので、夜間定時制課程 10 校 11 学科で実施しました。

「5 合格者総数」は、全日制課程が 10,239 人、定時制課程が 424 人、通信制課程が 115 人でした。

次に、「Ⅱ 令和6年度三重県立高等学校専攻科入学者選抜の概要について」を報告します。

四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科では、9月15日に特別選抜、10月16日に一般選抜、1月11日に再募集を実施しました。

水産高等学校漁業専攻科及び機関専攻科では、3月11日に入学者選抜を実施しました。入学定員、志願者数、合格者数はご覧のとおりです。

なお、桑名高等学校衛生看護専攻科では、5年一貫教育のため、専攻科の入学者選抜は実施していません。

以上で令和6年度三重県立高等学校等入学者選抜の概要についての報告を終わります。

(岡田特別支援教育課長説明)

引き続きまして、「Ⅲ 令和6年度三重県立特別支援学校入学者選考の概要について」を報告させていただきます。

資料の説明の前に、特別支援学校の入学者選考の制度について説明いたします。

県立高等学校では、入学定員を設定し、受検者の中から、ある基準に従って合格者を選ぶという選抜を実施しております。

一方、県立特別支援学校高等部では、選抜ではなく、選考を実施しております。選考を希望する生徒、保護者には該当する特別支援学校を1月末までに見学いただき、個別に教育相談を受けてもらうこととしています。

これは特別支援学校の教育内容等を十分にご理解いただき、障がいの状況をふまえて、特別支援学校で学ぶことをイメージしていただくためです。

その上で、受検時には、事前に聞き取った内容に配慮した諸検査及び面接を行い、入学者を決定しますので、結果として、特別支援学校高等部の選考に不合格はございません。

それでは資料3ページをご覧ください。

まず、2月6日に実施しました選考につきまして報告いたします。

県立高等学校の前期選抜に合わせて、特別支援学校16校で実施し、235名が受検し、全員を合格としました。各学校の状況につきましては、資料にお示ししたとおりでございます。

次に、2月13日に実施しました、追選考についてです。これは、当該学校で教育相談を受けた者のうち、2月6日の選考を、体調不良などの理由で受検できなかった者を対象に実施しました。特別支援学校4校で7名が受検し、合格者は7名です。

最後に、3月19日に実施しました、再募集による選考についてです。

これは、当該学校で教育相談を受けた者のうち、2月6日の選考を欠席した者や、改めて再募集を志願した者を対象に実施し、特別支援学校5校で5名が受検し、合格者は5名です。

従いまして、資料4ページにお示ししたとおり、高等部の合格者総数は247名でございます。

令和6年度三重県立高等学校等入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要についての報告は以上です。

【質疑】

教育長

報告1はいかがでしょうか。

富樫委員

2ページの合格者総数の、例えば定時制で定員が760人に対して合格者424人で、55.8%っていう充足率で、これは県の設定っていうのが、このくらい来る可能性があるということで、760を設定されているのですかね。

ここにまた定員の教員の配置とかそういうのがどういうふうになっているのかと思ひまして。

山北課長

この人数が少ないことによって教員の配置が削られるということではなくてですね、40人クラスで、教員数配置を計算してありますので、そこに40人のところに30人しか生徒がいらないからといいましてですね、教員をそこで削るとかいうことはございませんので、人数としてはこの昨年度よりも、充足率は6%ほど上がっておりますけれども、このぐらいを見込んでおります。

富樫委員

来年度の定員の設定としてはこのくらい。

山北課長

このくらいを見込んでおります。

富樫委員

別の話題で、愛知県なんかで、公立学校の中高一貫校、明和高校ですとか、刈谷、半田、津島ですかね。ニュースでちょっと見たのですが、三重県はちょっと関係ないかもしれないですけど、そういう検討っていうのは。

大森委員

多分それ私が10何年か前にワーキンググループのリーダーとして提案はさせてもらってるんですけども。それ以来動いていないと思いますが。

山北課長

おっしゃるとおりでして以前検討していたことはございますが、ここ近年はですね、検討自体を行っているものではございません。

大屋副教育長

1点よろしいですか。その部分についてはですね、昨年度、愛知県の状況もありましたので、改めてですね、近県の状況については、状況も過去より変わっておりますので、ベンチマーキング等をしながらですね、情報収集を並行しながらしているところでございます。

富樫委員

特色のある学校づくりと言うのですかね、そういうのがよく見えるような感じも愛知県にあったので、三重県はどうかのかなと思って。

教育長

基本的にそういう課題があることを認識しているのですが、そういうニーズが本当にあるかどうかというのは、見極める必要がございます。愛知県は、学力の面で私立と対抗していくためには、ということがあるみたいですが、本県の方ではそのようなニーズはないのかなと思ってますし、そのあたりは公費のかかることですので、しっかりと検討はしていかなければならないかと思っております。前向きに今進めているわけではありません。

—全委員が本報告を了承する。—

・報告事項

報告2 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について（公開）

（向井生徒指導課長説明）

報告2 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について

三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について、別紙のとおり報告する。

令和6年4月23日提出 三重県教育委員会事務局 生徒指導課長

説明は、元水子ども安全対策監が行います。

（元水子ども安全対策監）

では、1ページの別紙をご覧ください。三重県いじめ問題対策連絡協議会は、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携を図ることを目的として、条例により設置しております。このたびの4月1日付人事異動によりまして、委員の任命を行いましたので報告させていただきます。

三重県小中学校長会から津市立神戸小学校長、水野聡子様を解任しまして、津市立榎形小学校長、片岡弓様を任命します。

同じく、三重県小中学校長会の四日市市立富洲原中学校長、天野智裕様を解任しまして、松阪市立西中学校長、尾崎充様を任命します。

三重県立学校長会の県立いなべ総合学園高等学校長、久野嘉也様を解任しまして、県立久居農林高等学校長、萬井洋様を任命します。

三重県市町教育長会の大台町前教育長、森亨様を解任しまして、大台町新教育長、福岡佳久様を任命します。

児童相談所の三重県児童相談センター所長、中澤和哉様を解任しまして、中勢児童相談所長、山添欽也様を任命します。

津地方務局前人権擁護課長、横山真弓様を解任しまして、新人権擁護課長、濱本浩暢様を任命します。

三重県警察前少年課長、門由美也様を解任しまして、新少年課長、柑子木亮吉様を任命します。

教育委員会事務局前学校教育担当次長井ノ口誠充様を解任しまして、新学校教育担当次長早田清宏様を任命します。

2ページの方、名簿をご覧ください。委員14名となり、新規任命が8名となります。委員の任期につきましては、令和6年9月30日までの任命となります。

3ページには参考としまして、本協議会の設置条例等の根拠法令を記載させていただきました。条例の方で、委員は15人以内、委員の任期は、前任者の在任期間を含めて1年となっております。

なお、男女構成比につきましては、14名のうち、女性が3名という形で、全体の2割ほどにとどまっております。

本協議会の男女構成につきましては、特に規定されているものではございませんが、県としましても引き続き、男女比の均衡に努めてまいりたいと思っております。説明は以上です。

【質疑】

教育長

報告2はいかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

議案第1号 職員の懲戒処分について（非公開）

中出教職員課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第2号 令和6年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について（非公開）

尾上小中学校教育課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・閉会宣言